

令和7年度阿見町総合教育会議議事録

会議日時	令和8年1月29日（木）午後3時00分から午後4時30分	
会議場所	阿見町役場 301会議室	
構成員	出席者 町長 千葉 繁 教育長 宮崎 智彦 委員 湯原 敦子 委員 安江 健 委員 石田 貴也 委員 田島 峰子	欠席者 なし
構成員以外の出席職員	町長公室 町長公室長、政策企画課係長、政策企画課主任 教育委員会 教育部長、学校教育課長、生涯学習課長、指導室長、学校教育課長補佐、学校教育課係長、生涯学習課係長、学校教育課主事	
議題	1 開会 2 町長あいさつ 3 出席者紹介 4 協議事項 （1）温水プールの建設について （2）学校施設の改修工事、整備事業について（体育館空調） 5 閉会	
傍聴者	なし	
議事内容		
事務局	<p>ただ今から、令和7年度阿見町総合教育会議を開会いたします。</p> <p>この会議は、阿見町審議会等の会議の公開に関する指針に基づき傍聴者を募集しましたが、希望者はありませんでした。また、会議内容は録音のうえ、議事録の要旨を作成して公開いたしますので、ご了承をお願いいたします。</p> <p>本日の総合教育会議は、町長と教育委員会委員が構成員となり、構成員6名が出席していることをご報告します。</p> <p>（町長あいさつ） （出席者紹介）</p>	
事務局	<p>それでは協議事項にうつります。阿見町総合教育会議運営要綱第3条第1項により、町長が議長となりますので、ここからは町長に議事進行をお願いしたいと思います。</p>	

町長	<p>それでは議長を務めさせていただきます。よろしくお願いいたします。</p> <p>はじめに、協議事項（１）温水プールの建設について、事務局から説明をお願いします。</p>
事務局	<p>まず、改めて温水プール建設の目的からお話ししたいと思います。</p> <p>霞ヶ浦に面した阿見町の子どもたちが、学習指導要領で必修科目となっている水泳授業をきちんと行えることは、とても大切なことです。現在進められている霞ヶ浦導水事業により、今後、霞ヶ浦の水は段々ときれいになっていきます。泳げる霞ヶ浦が実現すれば、子どもたちがより水に親しむ機会は増えていくと考えます。水の事故を未然に防ぐ安全教育の面からも、水泳授業は非常に重要です。</p> <p>しかしながら、現状の学校プールはいずれも築４０年以上経過しており、今年度、自校プールを使用できた学校は阿見小と阿見第一小のみでした。他校は民間プールを使用して対応しましたが、日程調整や授業回数などが学校の課題となっています。</p> <p>夏の期間のみしか使用しない学校プールを改修・更新した場合は、２２億７千万円という多額の費用がかかります。また、その後の維持管理費もプールの数だけ必要となります。</p> <p>そうした中で、子どもたちのために継続的な水泳授業の確保を第一の目的に、そして町民の皆さんから要望の多い温浴施設とトレーニングジムを併設した、新たな温水プール施設の整備を進めているところです。</p> <p>今年度は基本設計を進めており、次年度は基本設計に基づいた、より詳細な実施設計を行い、令和９年度と１０年度の２か年で建築工事を行って、令和１１年度に供用開始できるように進めています。</p> <p>それでは基本構想からご説明いたします。</p> <p>阿見町温水プール基本構想概要版をご覧ください。これは温水プールを整備するための基本的な考え方をまとめたものです。</p> <p>まず、基本構想策定の背景と目的です。先程申し上げましたように、阿見町の学校プールはいずれも築４０年から５５年程経過しており、令和６年度時点で学校プールが使用できるのは９校のうち３校のみとなっています。実際に令和７年度に使用したのは２校のみとなりました。</p> <p>各校のプールを利用可能とするために改修・更新した場合には多額の費用がかかり、その後の維持管理費も必要となります。そうした状況の中で、水泳授業の安全性や継続性を確保し、学校プールの維持管理や老朽化対策等の課題解決を図るため、学校水泳授業での共同利用と町民による一般利用の両立を目指した、新たな温水プール施設の整備に向け、基本的事項をまとめました。この基本構想は昨年度</p>

に作成し、令和7年6月に公表しています。

次に前提条件の整理として、学校プール施設を取り巻く課題を整理しました。いずれの学校プール施設も築40年から55年程経過しており、老朽化が懸念されます。今後使用し続けた場合は、ろ過材交換、ろ過器交換、防水修繕、既存施設の解体を含む建て替えが必要となり、全体で約22億7千万円の費用が見込まれ、屋外プールであるため学校授業や地域開放等を実施しても、夏場のみの利用に留まります。

さらに、現在は土浦市の民間プール施設を利用して学校授業を実施しているため、民間事業者の経営方針に左右され、利用にあたっての継続性に懸念が生じています。民間プールは学校授業が優先される保証は無く、他市町村の学校授業利用とも競合します。

そして、現在は教員による水泳指導を行っていますが、教員の負担軽減や安全性を考慮して、民間事業者による水泳指導への切り替えに向けた検討も必要な状況です。

これらの課題は温水プールを整備することで、全て解決できることが見込まれています。

町民ニーズとしても、第2次阿見町生涯学習推進計画の策定にあたり、令和3年度に実施した生涯学習に関するアンケート調査において、町に不足していると思うスポーツ施設として屋内プールが34.8%と最も多い回答となっています。2番目に多かったのがスポーツジムで30.2%となりました。

温水プールの基本方針ですが、まず、子どもたちの学習拠点の整備として、町内の学校水泳授業の受け入れを行う施設とします。このことが一番の目的です。

次に、多様な世代が集うスポーツ振興・健康増進拠点の整備として、幅広い世代がスポーツに親しめる拠点とします。様々な角度から運動・健康づくりに利用できる環境を整備するために、プールだけではなく温浴施設、トレーニングジムも作ることで、幅広い世代に喜んでいただける施設にしたいと考えています。

計画地の比較検討と選定ですが、候補地をいくつか挙げた中で比較検討を行い、特に町内小中学校からバスで送迎することによる交通アクセスや造成費用などを比較検討した結果、阿見中敷地と学区児童館跡地の場所が最も適していると判断しました。

施設計画に関する考え方ですが、民間事業者へのアンケートなども行い、町で必要なものとしてプールのほか、トレーニング室や温浴機能を導入することの検討結果となります。施設規模はそういった機能を全て備えて、上限として概ね2,000㎡以内を設定しまし

た。

機能ゾーニングと導線については、水泳授業がメインとなりますので、授業中はプールを貸し切りにするようなイメージをしています。貸し切り中も一般の方がトレーニングジムや温浴施設を利用できるように、子どもたちの利用導線と一般利用者の利用導線を明確に分けた設計をします。

現在、基本設計を進めているところですが、授業利用と一般利用の更衣室を分けるように設計しています。

事業規模の試算ですが、他市町村の事例や物価高騰による影響を踏まえて算出しました。プール工事費は1.5億円から1.7億円で、これは建物の建設費用となります。そのほかに外構工事費用や備品費、設計費を含めると、合計で1.8億円から2.2億円の事業費を見込んでいます。

現在の学校プールの建て替えや改修を行うと、令和30年までに2.2億円程かかる試算をしており、温水プール建設と同じくらいの費用がかかります。一年中プールが使えるとともに、プール以外の温浴施設やトレーニング施設も含めて整備をします。

また、事業費のおよそ半分に国の補助金を充てることも検討しています。

事業スケジュールと今後の課題ですが、今年度は基本設計を進めており、令和8年度は実施設計として工事の前段階の詳細な設計を行います。そして令和9年度と10年度の2か年で工事を行い、令和11年度からスタートできるように進めています。

阿見町温水プール基本計画は基本設計前に作成したもので、敷地レイアウトのとおり、プール建設とともにテニスコート改修も行い、一般の方も利用できるような形にすることも検討しています。

阿見中の校庭には、東日本大震災の際、グラウンドの土の放射線量が基準を若干上回ったため、表土を削って袋に詰めたものが埋設されています。埋めた場所は建物の建設部分とは重ならない位置にありますので、建設にあたって掘り起こすことはありません。放射線量も安全な数値となっており、心配がないことは町議会でもご説明しています。

公園部分については、将来的に防災公園として整備していきたいと考えていますが、既存の阿見中プールを解体してからでないと公園整備はできません。解体費用もかかりますので、将来的に一体的な公園として整備する計画です。

	<p>最後に諸室面積です。プールは7レーン設置し、そのうち5レーンは深さ1mほどの通常の深さに、残り2レーンは深さ0.7mほどに浅くします。授業でも使いやすいほか、先進事例をみると高齢者の水中ウォーキングにも使いやすい深さであることから、様々なニーズに対応できる設計を考えています。</p> <p>温浴施設については男女それぞれ10人ずつくらいが常時利用できる大きさを考えています。</p> <p>トレーニング室は100㎡前後を考えており、上限のある中で最大限利用しやすい施設の設計を進めているところです。</p> <p>以上が温水プールの概要となります。</p>
町長	<p>ただ今の説明について、委員の皆さんと意見交換をしたいと思います。ご意見等はありませんでしょうか。</p>
教育委員	<p>詳しい説明と分かりやすい資料をありがとうございます。本当に学校の実情をよく分かってくださっているのが伝わり、嬉しく思いました。学校にとってプールの取り扱いは本当に大変で、夏の時期を迎えると、体育主任が授業の合間にどれだけプールを見に行くかわからないくらい、足を運ばなければなりません。プールは大抵、校舎から遠いところにありますので、本当に大変な管理をしています。</p> <p>プール掃除から始まり、水質管理、水位管理、機材や備品の洗浄のほか、機械操作も行います。操作は伝達がなければ覚えられませんが、教員も人事異動で変わりますので、本当に大変な思いをして管理してきました。</p> <p>コロナの時期は水泳授業が実施できませんでしたので、子どもたちには本当にかわいそうな思いをさせていただきましたが、現場の教員としてはほっとするところも、もしかしたらあったかもしれせん。コロナが終わり、水泳授業が再開されましたが、町のおかげで外部委託も始まり、本当に子どもたちも教員も感謝の思いが強くなります。</p> <p>ただ、コロナの時期に水泳授業を行いませんでしたので、教員が水泳の指導方法を分からなくなり、半分以上が水泳指導の経験がない学校がある実情もあります。何よりも命を守るための水泳指導ですので、安全な指導が継承されなければ、とても怖いことだと感じています。</p> <p>そういう事情もあって、コロナ前にはなりますが校長会としても、学校プールが使用できても何とか外部委託ができないかと、当時の教育長に何年間にもわたって要望を続けていました。これは校長会だけではなく教員のほとんどが同じ思いです。</p>

<p>教育委員</p>	<p>学校授業を第一に考えて、町に温水プールを整備していただけるのは大変ありがたいです。メリットは学校だけではなく、町民の皆さん誰もが使えるというところが、要望の強い部分だったのかなと感じます。</p> <p>昨年の総合教育会議でも温水プールのお話が出たと思います。本当にここまで計画が来たのだなと、ありがたい思いで聞かせていただきました。</p> <p>私も、今の委員の話にもありましたが温水プールは子どもたちの教育環境として素晴らしいものですので、大変ありがたい話だと、委員として感謝申し上げます。</p> <p>少しお伺いしたいのですが、プールの運営はどうなるのでしょうか。町の施設であっても実際の運営は民間管理会社に任せるなど、どのようになるのでしょうか。建物の話は先程の説明でよく分かりましたので。</p> <p>もう一点、維持管理はどうなるのでしょうか。今まで学校がやっていた管理を役場職員でやるということは難しいでしょうから、維持管理費もかかると思います。年間このくらいかかるというのが分かれば、利用者にもこれくらいの負担をしてもらわないとという見通しも立つと思います。そのあたりはいかがでしょうか。</p>
<p>事務局</p>	<p>運営主体ですが、民間で指定管理者として運営されている企業が沢山ありますので、ノウハウをもっている方に指定管理者としてやっていただきたいと考えています。水泳指導、建物管理、温浴施設やトレーニング施設の管理も全て含めて、受けてもらえる民間企業という条件整理をして、今後募集したいと考えています。</p> <p>維持管理費については幅がありますが、毎年5千万円から1億円ほどかかると考えています。温水プールの水を温めるための熱源が必要なことや、施設管理や水泳授業の支援をどこまでやるかにもよります。できるだけ手厚くして、教員の負担を減らしたいとは考えていますが、やればやるほど費用はかかります。</p> <p>他自治体の例を見ると、5千万円ほどで管理できているところもあれば1億円かかっているところもあります。利用者からも利用ごとに料金を支払っていただきますが、民間施設のような高額な利用料は取れません。1回数百円というような形で、維持管理費の一部を利用者に負担していただきたいと思っています。</p>
<p>教育委員</p>	<p>ありがとうございます。民間事業者が比較的沢山あるということですね。分かりました。</p>

教育委員	<p>私からは保護者の立場としてご質問したいと思います。今年度は小中学校の各校で年1回もしくは2回のみ水泳授業実施となりましたが、温水プールが完成した場合、小中学校の水泳授業回数ほどのくらい行うことになるのでしょうか。</p>
事務局	<p>学習指導要領では、水泳授業は小学校1年生から中学校2年生まで必修となっています。時間数は明記されていませんが、水泳指導は年間10時間程度で計画されます。現在はその時間数を確保できていませんが、温水プールが建設された場合は、1回2時間の授業時数とすると5回程度は確保できると思います。</p>
町長	<p>従来は10時間、水泳授業を行えばよいという指導計画になっているのでしょうか。</p>
事務局	<p>はい。ですが現在は2時間くらいしか実施できていません。</p>
教育委員	<p>学校の立場での意見があったと思いますが、私も同感です。皆さんが考えているよりもずっと、学校プールの教員への負担は大きく、そこを理解していただいて、民間管理でやっていただけるのは本当にありがたく感じます。町の財源を教育に大きく使っていただけることも、平らに、色々な方に少しずつ還元するのではなく、個々ではできないものに集約して使うというのも、住民としてもありがたく感じます。</p> <p>学校は本当に温水プールを必要としていますが、一般の方はどうなのかなというのは心配しており、理解が得られるのかなと感じていました。ただ、先程の説明を聞いて、温水プールを欲しいと考えているのは学校ばかりではなく、沢山の町民の方も必要と感じていることが分かりましたし、トレーニング施設が欲しいという要望にも応えられる施設にさせていただけるのも、すごく期待の高まる話でした。</p> <p>先日、知人と温水プールの話になりました。小中学校にお子さんがある年齢ではない方でしたが、すごく関心が高く、町が発信されている情報をよくご覧になっていました。ジムや温浴施設ができることにとても期待しているという話をされていました。</p> <p>町民の皆さんのご理解を得ることは本当に大切ですので、こういったことを説明する機会はどのように考えていらっしゃるのでしょうか。現在は町のホームページなどで発信していると思いますが。</p>
事務局	<p>現在、基本構想、基本計画、基本設計まで進めていますが、今後、実施設計を行って工事も控えていますので、令和8年度には住民説</p>

教育委員	<p>明会を行いたいと考えています。今は広報紙やホームページでの情報発信になっていますが、もっと具体的な図面等がお見せできる段階になれば、説明会なども考えていきたいと思っています。</p> <p>一般の町民の方が利用するとなると、駐車場も確保されていると思いますが、中学校が隣接していますので安全面も配慮していただきたいと思っています。</p>
事務局	<p>十分に配慮いたします。計画、設計段階から阿見中には密にお話を伺いながら進めています。前面道路は通学路でもあり、歩行者も多いことから安全面も考慮した設計を考えています。</p>
教育委員	<p>候補地について一つ質問があります。他市町村にもありますが、ゴミ焼却施設との一体施設であれば、エネルギーを有効に使えると思います。町のクリーンセンターの老朽化の話も伺っていますので、候補地の中から阿見中の敷地に決定したことはよく分かりましたが、クリーンセンターとの一体化というのは検討に挙がらなかったのでしょうか。</p>
事務局	<p>資料には掲載していませんが、クリーンセンターの隣接地を検討しなかったわけではありません。クリーンセンターの隣にプールという事例も多くありますが、プールの水は400トンほど必要ですので、クリーンセンターの今の状態では、そこで生まれた熱源を使って水を温めることが難しく、かなり大規模な改修をしなければなりません。また、現在のクリーンセンターの寿命を考えると、今すぐ建て替えが必要なわけではありませんが10年後くらいには建て替えが必要になります。</p> <p>そのタイミングを待っているわけにはいきませんし、今やろうとすると多額の改修費用を必要とすることから、現実的な面で候補地から除かれました。</p>
町長	<p>少し補足しますが、温水プールにクリーンセンターの廃熱利用というのは、町としても若栗の総合運動公園に総合体育館を建設する計画があり、用地もあります。今のクリーンセンターの余熱を利用して水を温めて、総合運動公園で利用するという計画でしたが、距離があるため到着するまでに冷えてしまいます。本当は最初からすぐ近くに計画されればよかったですのですが、それができません。</p> <p>クリーンセンターの耐用年数も、現在29年目を迎えており、建て替えについて7市町村での広域化を検討しています。クリーンセンターは建設当時、およそ59億6千万円かかりましたが、今、新たに</p>

<p>教育長</p>	<p>作ろうとすると200億円以上かかり、単独の市町村だけでやることは難しいです。牛久市も耐用年数を迎え、龍ヶ崎市は河内町、利根町と塵芥組合を広域に作りクリーンセンターを運用していますが、そこも耐用年数を迎えます。稲敷市や美浦村は近年建設したばかりですが、そこを含めて広域化の検討をしているところです。もし阿見町に施設を建設ということになれば、温浴施設もという話になるかもしれませんが、耐用年数を迎えるところに温水プールというのはできない事情があります。</p> <p>候補地の話もありましたが、道の駅予定地が町長就任以来の私の宿題になっています。国、県、民間にお願いしても、どこも手を挙げてくれません。個人的にはここはどうかという思いがありましたが、造成だけで6億5千万円かかってしまいますので、ここは難しいとなりました。</p> <p>あの場所をどうするかというのは、例えば倉庫を建てたりすることでしたら簡単ですが、できるだけ町民の皆さんに喜んでもらえるような場所にしたいという思いがありますので、現在も担当課は準備を続けているところです。</p> <p>阿見中の案は私も賛成でした。場所がどこになっても町内の子どもたちを連れて行かなければなりません。阿見中と阿見小の児童生徒は徒歩で行けますので、少なくとも10校中2校は自力で行けます。そして町の中心にあることで、どの学校から移動しても、あまり多くの時間をかけずに子どもたちを連れていくことができます。テニスコートもかなり老朽化していますので、新しくしてもらえらることも学校としてメリットが大きいと思いました。</p> <p>熱利用の話も大切なことですが、子どもたちの民間プールへの移動時間が思いの外かかっています。先程、10時間という授業時数の話がありましたが、実際にどのくらいプールの中に入れているかを考えると、移動時間は大きなデメリットになっています。</p> <p>今は土浦市の民間プール施設を使っていますが、遠くから行けばその分、大事な学習時間が割かれていきます。そういうことも考えると、町内に施設があるメリットはやはり大きいと思います。</p> <p>今ある学校プールを直して使えばいいのではないかという考えもありますが、近年は夏場でもプール授業を実施できない日が発生しています。WBGTと呼ばれる指標を超えてしまうと、熱中症の危険があるためプールに入ることができません。プール日和にプール授業ができず、水をものすごく無駄にしまいます。教員の負担も本当に大きく、入ることができないプールを管理しなければならないのかというのは、大きな心の負担にもつながっています。</p> <p>温水プールは真夏でも入れますし、年間を通してプールができれば</p>
------------	---

町長	<p>ば、学校は教育課程の中にどのように位置づけるかを考えればいいだけですので、負担軽減は非常に大きいと思います。単純に、同じ費用なら直して使えばいいというわけにはいかない実情があります。</p> <p>学校には、やらなければならない体育的な行事もあります。年間を通じてプールが使えるとなれば、各校はどこで水泳授業を行うかを簡単に組むことができますが、現状の民間プールでは、ここが空いているので入っていいですよという相手のスケジュールに合わせて授業を計画しなければなりません。やるべき行事の位置付けも変えなければ水泳授業を行えないとなると、教育的効果も落ちてしまいます。町内に温水プールがあるメリットはやはり大きいと思いますので、教育長の立場として感謝を申し上げたいです。</p> <p>なぜ温水プールの建設に至ったかといいますと、コロナで3年以上、学校プールを使うことができない期間があり、再開するとなった際に全てのプールが修繕しなければ使えない、全滅の状態でした。全て直すのにどのくらいかかるのかを試算したところ、令和30年までに22億7千万円かかることが分かりました。国の補助金もあまり期待できない状況でした。</p> <p>温水プールは第7次総合計画にも位置付けています。体育施設の中で何が欲しいかのアンケートを取ると、温水プールという結果が出てきました。それであれば検討してもいいのではないかと、私が最初に聞いたときは16億円という建設費用でした。修繕や改修より費用を抑えることができることに加えて、国の補助金が半分ほどもらえることも分かりました。</p> <p>それでは進めてみようということで、建設検討委員会を立ち上げ、まずは色々な施設を見に行き報告してくださいと話しました。その視察の中で、温水プールだけではない複合施設として、温浴施設やトレーニング施設を併設しているところが多いことも分かりました。これはみんな喜んでくれるだろうと、いくらかかるのかを聞いたところ5億円くらいとのことでした。維持管理費もかかるけれども、みんなが喜んでくれるなら進めていこうと始まりました。</p> <p>実際は材料費や人件費も高騰していますので、始まればもう少し上がる可能性もありますが、国の補助金や、25年間で返済する起債はその返済の20%が交付税としてあとから返ってきますので、こちらの方が絶対にいいだろうとなりました。</p> <p>なぜ今、この温水プールの話がクローズアップされているのかというと、やはり町の説明が不足していると思っています。これだけ関心が高いのですから、もう少し細かく説明をしていけば、この話は理解してもらえると感じています。</p> <p>阿見町は霞ヶ浦に面しており、利根川水系の河川もあります。万が</p>
----	--

事務局	<p>一、そこで水難事故が起きた際、町にプール施設がなくて水泳授業や安全教育が十分に行えなかったために、子どもたちが溺れて命を落とすというような事態を、私は町の責任者として絶対に起こすわけにはいきません。このことは強く伝えたいと思っています。</p> <p>施設は、年間を通じて全世代の方に利用していただけますので、皆さんにも喜んでいただけたらと思っています。場所の話もありましたが、役場庁舎が隣にあり、中学校の体育館、広い校庭もあります。もし大規模な災害が起きて仮設住宅が必要となれば、さわやかセンター隣の砂利駐車場や、もしかしたら学校の校庭もその場所に使われることになるかもしれません。そうなったときに温浴施設があれば、災害時も有意義な施設になると思います。</p> <p>福祉センターまほろばは、レジオネラ菌の発生により現在使用できなくなっています。まほろばも40年使用しており、昨年修理をしましたが、また発生してしまいました。施設が限界を迎えていて、今も使用停止が続いていますので、新たな温浴施設も必要だと思います。そういった理由が沢山あるのです。ですから、町としても進めた話なのです。</p> <p>全小中学校の屋外プールを集約して、財政負担を軽減させることも理由の一つです。9か所のプールがあれば、9か所分の水を入れ替えることとなりますので、水資源の使い方についても考えなければなりません。図書館や体育館といった施設も、維持管理の経費はかかります。何十年間という使用期間を考えれば、莫大な費用がかかってしまうのはどの施設も同じです。町民の皆さんに喜んでもらえる施設をどう作っていくかが大事なことです。進めていきたいと思っています。</p> <p>それでは次の議事にうつりたいと思います。協議事項(2)学校施設の改修工事、整備事業について、体育館の空調工事をテーマに事務局から説明をお願いします。</p> <p>現在、町の屋内運動場は町民体育館のみ空調設備が整備されていますが、町立小中学校の屋内運動場の空調は未整備となっています。近年の地球温暖化や異常気象の影響により、夏場の熱中症発生リスクは非常に高い状況にあります。屋内運動場は学校授業や行事での利用のほか、防災面でも災害時の指定避難所として活用される施設であることから、教育・健康・防災の観点から、早急に整備を進めることが求められています。</p> <p>そこで、学校教育課では屋内運動場の空調設備の整備に関する具体的な方針として「阿見町学校施設屋内運動場空調設備設置計画」を策定して、今後の設計、施工、予算要求を計画的に進めていく方針を</p>
-----	---

たててまいります。

それでは、阿見町学校施設屋内運動場空調設備設置計画（案）についてご説明いたします。

本計画は、町立小中学校の屋内運動場において、空調設備を計画的に整備するための方針を示すものです。屋内運動場は、体育授業や学校行事、災害時の避難所といった多様な役割を担っていますが、近年の地球温暖化の進行により、安全性や快適性の確保が課題となっています。そのため、空調設備整備を推進し、児童生徒及び地域住民の安全と安心を確保いたします。

町民体育館には令和6年度に空調設備が設置されましたが、町立小中学校の屋内運動場にはまだ整備がされておりません。そこで、児童生徒の健康と安全の確保、教育環境の質的向上、災害時の避難所機能の強化という3点の達成を目的に、本計画を策定します。

計画の位置づけですが、本計画は阿見町学校施設防災計画を上位計画とする個別実施計画として、阿見町公共施設等総合管理計画及び阿見町学校施設長寿命化計画と整合を図りながら、今後の設計・施工・予算要求の基本的方針として活用します。

空調を整備する屋内運動場は、町立小中学校10校を対象とします。近隣自治体の動向ですが、茨城県の調査結果による空調設備設置率はスポットクーラーも含まれており、町民体育館のような固定式空調としてみると、令和7年度時点ではつくば市、土浦市、牛久市、稲敷市はいずれも未整備、美浦村のみ整備されています。

いずれの自治体も今後順次、固定式の空調設置工事が進められる予定です。

基本方針と整備目標ですが、施設の構造的条件である天井高・断熱性・換気性能等を踏まえて、冷房能力だけではなく、効率性・耐久性・維持管理性に優れた設備を選定します。また、一斉導入は財政面、施工面の両面で現実的ではないため、数年にわたる段階的な整備を基本方針としています。

整備対象の施設ですが、町立小中学校全10校の屋内運動場となります。整備の優先順位の考え方ですが、利用頻度の高さ、児童生徒数や学校規模、夜間や休日にスポーツ団体が利用する社会体育使用、避難所としての必要性といった各種指標を基に、初年度は優先度の高い中学校3校の屋内運動場を、以降は年次的に小学校の屋内運動場に整備を拡大していきます。

整備スケジュールですが、令和8年度は部活動利用もある阿見中、

	<p>朝日中、竹来中の3中学校を、令和9年度は小学校4校、令和10年度は残りの小学校3校というように、段階的な整備を計画していますが、防災危機管理課と避難所としての重要度を検討しながら考えたいと思っています。</p> <p>事業費の見込みと財源ですが、1施設あたり3千万円から5千万円の整備費用がかかると見込んでいます。概算で5.5億円程必要となりますので、本事業では文部科学省の空調設備臨時特例交付金を活用したいと考えています。</p> <p>この交付金は令和6年度から令和15年度まで、補助率2分の1で、工事下限額4百万円、工事上限額7千万円となっていますので、国の財政措置などを活用して町の財政負担を軽減させます。</p> <p>ランニングコストも、仮に動力源が電気の場合、1施設あたり年間100万円から200万円の電気代が想定され、全11施設で約1千5百万円が毎年必要となるほか、点検、修繕、更新費用も必要になります。効率的に運用してコスト削減に努めます。</p> <p>今後の課題としては、維持管理体制、機器の更新周期、地域の理解などが挙げられ、持続的に運用するためには課題の解消も必要となりますが、本計画により公共インフラを整備することで、児童生徒の教育面、猛暑対策といった安全面、避難所としての防災面、地域コミュニティの活性という地域面など、多面的な効果をもたらす施策と期待されています。</p> <p>説明は以上となります。</p> <p>ただ今の説明について、委員の皆さんと意見交換をしたいと思います。ご意見等はありませんでしょうか。</p> <p>こちらも喫緊の課題として、体育館空調も非常に重要だと感じていました。ありがとうございます。</p> <p>空調工事と断熱工事を別の年度に行うような計画ですが、効率を考えると分けずに、一緒に整備する方が良いように感じます。同一年度に行わない都合などがあるのでしょうか。</p> <p>また、空調工事の翌年にすぐ断熱工事を行うこともできると思いますが、そうしない理由もあるのでしょうか。</p> <p>まず、全ての体育館に空調を整備することを先行して、スピード感をもって進めていきたい思いがあります。空調工事の翌年に断熱工事を行うと、全校への空調設置を完了するのにかなりの期間を要してしまいます。空調設置を最優先に集中的に行って、それが終わった</p>
町長	
教育委員	
事務局	

	<p>後に断熱工事を行いたいと考えています。</p> <p>断熱工事の手法も何種類もありますので、どのような断熱工法が妥当かを判断しながら進めていきたいと考えています。</p>
教育委員	<p>速やかに空調を設置していただけるのは、学校としては大変ありがたいと思います。工事期間中、体育館は使用できなくなるのでしょうか。</p>
事務局	<p>文部科学省から提供されている工事事例などを見ると、空調を設置する部分だけ工事範囲として塞いで、授業では使えるようにする工法の案内がされています。そういった手法も検討して、授業では使えるようにしていきたいと考えています。</p>
教育委員	<p>ランニングコストの説明の中で、電気の場合とお話がありましたが、ガスについても検討しているのでしょうか。</p>
事務局	<p>ガスも検討しています。防災の観点からも、体育館は避難所となっていますので、電気にして発電機で空調設備を動かすことを優先するか、復旧の早いガスの方がいいのか、現在、設計を含めて検討しているところです。</p>
教育委員	<p>コスト面だけではなく、総合的に判断されるということですね。</p>
事務局	<p>はい。</p>
教育委員	<p>わかりました。ありがとうございます。</p>
教育委員	<p>先日の町民体育館での式典の際は、寒さを覚悟しながら伺いましたが、本当に暖かく、ありがたい工事を行っていただけたとしみじみと感じました。夏はこれが涼しくなるわけですから。</p> <p>一方で、空調機器がものすごい台数が設置されており、体育館の空調工事は大変なんだと感じました。ランニングコストもすごい費用だろうと感じました。他市町村では都市ガスを導入しているところもありますが、総合的に判断するというのも安心できました。</p> <p>小中学校の体育館は、社会体育利用で夜間開放も行っています。そちらでも使うことになると思いますが、町民体育館と同じような規定を決めるのでしょうか。</p>
事務局	<p>町民体育館は施設使用料に加えて、空調を使う場合はその料金を別途徴収しています。学校体育館についてはまだ結論を出していま</p>

教育委員	<p>せんが、空調を使うか使わないかで料金の差はやはり生じると思います。あまり利用者の負担にならないように検討していきたいと思っています。</p> <p>仕事柄、他市町村の体育館空調についても拝見していますので、小中学校で空調を付ける場合、町民体育館のような輻射型ではないような、壁から突起物が出るような設置は行わない方がよいかなと思います。囲いで機械をガードしているとは思いますが、その囲いはあくまでボールなどで壊されないためのものであって、子どもたちを守るためのものではありません。子どもたちが怪我をしないような設計をお願いしたいと思います。</p>
町長	<p>私からもそのことは要望しているところです。</p>
事務局	<p>ご指摘ありがとうございます。町民体育館はスポーツ施設として、特にバドミントンでの利用が多く、シャトルが風の影響を受けないよう輻射式を導入しています。学校体育館はコスト面からも、施設上部に空調機器がつくような形で設計していきたいと考えています。</p>
町長	<p>私が8年前に就任した当時、小中学校体育館にエアコンをつけたいと担当者に話したところ、その当方で10億円以上の費用がかかる試算でした。それではできないなと思いましたが、体育館は避難所にも指定されていますので、いつか必ず国の補助金がもらえるだろう、そのときに一斉に導入しようと話していたのを思い出します。</p> <p>やっと来年度、実施できることになりました。できるだけ早く完了できるよう、準備を進めているところです。</p> <p>一番の問題は、全校一斉に設置できないことです。全校一斉にやってほしいという話をしましたが、現実的に無理な事情があります。請け負っていただける業者の数の事情もあります。では、どうやって絞るかとなったときに、まず3中学校をやりたいとのことでした。残り7校の小学校をどうするかと聞いたところ、避難所としての役割からも人口の多い地域からやるしかないということで、泣く泣く、2か年に分けることになりました。</p> <p>災害時に避難所に集まる人数が多いことから判断しましたが、小さい学校をないがしろにするのかと、ご指摘をいただいてしまう可能性もあります。その時は、私は頭を下げなければならないと感じています。</p> <p>きちんと町として、どう判断したのかを説明できるようにしなければならぬと感じています。委員の皆様にも、こういった事情についてもご理解をいただきたいと感じています。</p>

事務局	<p>他にないようでしたら、以上で協議を終わりたいと思います。事務局に進行を戻します。</p> <p>ありがとうございました。以上をもちまして、令和7年度阿見町総合教育会議を閉会いたします。</p> <p>— 閉会 —</p>
-----	---